

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																		
ES23C003		ICT活用実践演習(Seminar in ICT Application to Education)					教職実践コース科目																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																			
選択	2	1	大学院教育学研究科	前期		氏名 竹中真希子 E-mail 内線																			
授業の概要	・ ICT活用に関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。																								
具体的な到達目標										DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 ICTを活用した指導法の実践的知識について深く理解する。																									
目標2 学校現場の事例を題材として現状の課題を発見することができる。																									
目標3 ICTを活用した指導法の現状の課題に対し、具体的な対応策を立案・検討することができる																									
目標4 ICTを活用して教材を開発するための実践的知識について深く理解する。																									
目標5 学校現場の事例を題材として現状の課題を発見することができる。																									
目標6 ICTを活用した教材開発に関する現状の課題に対し、具体的な対応策を立案・検討することができる。																									
目標7																									
目標8																									
目標9																									
目標10																									
授業の内容																									
1 授業テーマに関する学校の具体的課題の理解																									
2 ICT理解のための基本事項に関する講義																									
3 ICTを活用した授業・教材開発理論に関する講義																									
4 ICT活用事例の分析演習 - 教材提示ツールとしてのICTの活用																									
5 ICT活用事例の分析演習 - 学習記録ツールとしてのICTの活用																									
6 ICT活用事例の分析演習 - コミュニケーションツールとしてのICTの活用																									
7 フィールドワーク (ICT活用授業観察)																									
8 ICT活用授業案の構想演習 - 授業指導案の構想																									
9 ICT活用授業案の構想演習 - 教授学習活動へのICT機器の導入																									
10 ICTを活用した模擬授業の実践 - 教材提示・学習記録機能を活かした授業																									
11 ICTを活用した模擬授業の実践 - コミュニケーションを活性化させる授業																									
12 ICTを活用した模擬授業の評価・分析																									
13 評価結果を踏まえた授業案の改善																									
14 今後のICT活用授業の可能性の検討・討論																									
15 学習成果の発表と総括																									
ラーニング	A:知識の定着・確認		B:意見の表現・交換		C:応用志向		D:知識の活用・創造		演習では、現職院生と学卒院生とのペアワーク、グループワーク、討論など、アクティブラーニングの手法を取り入れる。		工夫	その他													
時間外学習の内容と時間の目安	準備	・ 次時の学習内容に関する予習や事前準備 (資料収集 , 資料や文献の精読など)																							
	事後	・ 演習での討議内容について、適切な視点を設定して整理し、自己の学修到達点を明確にする。																							
教科書	特になし。授業中に指示する。																								
参考書	特になし。授業中に指示する。																								
成績評価の方法及び評価割合	評価方法										割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10				
	複数教員による多面的・総合的評価 (受講態度 , 課題に取り組むべき姿勢 , 討論への参加等)										70%														
	最終レポート										30%														
注意事項	・ 本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教を請うこと。																								
備考																									
リンク																									
	URL																								

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	市原 靖 滋賀県公立中学校教員